

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項を「注意」として表記してあります。

### ⚠ 注意

回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**⚠ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

⊘ してはいけない内容です。

❗ 実行しなければならない内容です。

## ■使用上のご注意

### ⚠ 注意

本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度低下の原因になります。

本製品をラックに取付けた状態で手をついたり、もたれたりしないでください。破損・けがの原因になります。



次のような場所では使用しないでください。故障の原因になります。

- ・高温、高温となる場所
- ・振動、衝撃のある場所
- ・塵埃やオイルミストが多い場所
- ・水滴の掛かる場所
- ・腐食性ガスのある場所
- ・可燃性ガスのある場所
- ・有機溶剤のかかる場所



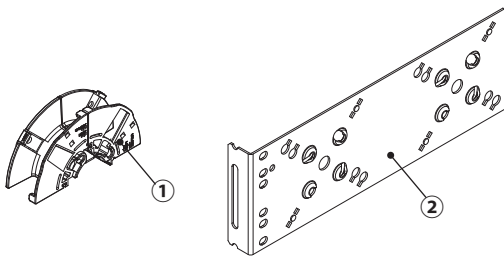
余長リールを余長リール取付パネルに取付ける際は、確実にロックしていることを確認してください。破損・落下の原因になります。

使用するねじは、指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.3 ~ 3.0

※ただし、S タイプねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

## ■各部の名称・仕様



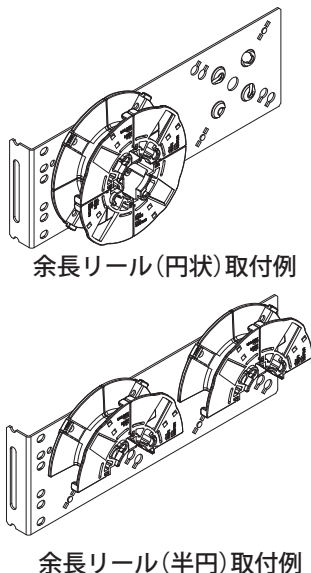
### ●付属品

名称	数量
+S タイプフランジ六角ボルト M5×10	2 コ
取扱説明書(本紙)	1 部

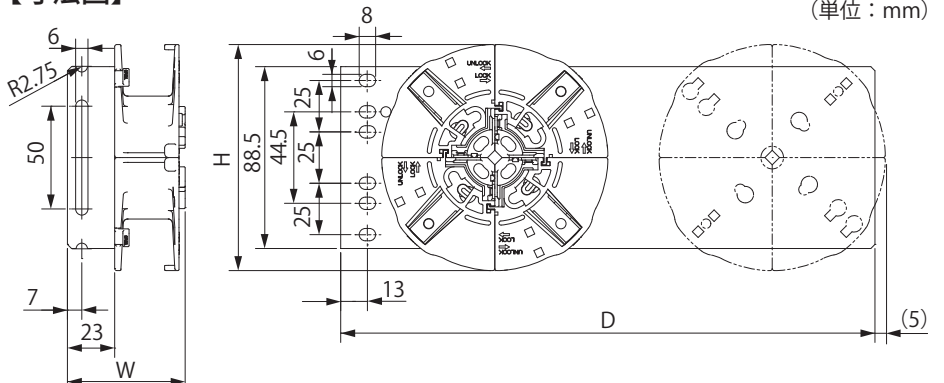
(単位：mm)

番号	部品名	材質	板厚	色彩	数量
①	余長リール(半円)	ABS	—	ホワイトクリーム	2 コ
②	余長リール取付パネル	アルミ	1.5	ブラック塗装	1 コ

(単位：mm)



### 【寸法図】



## ■余長リールの連結方法

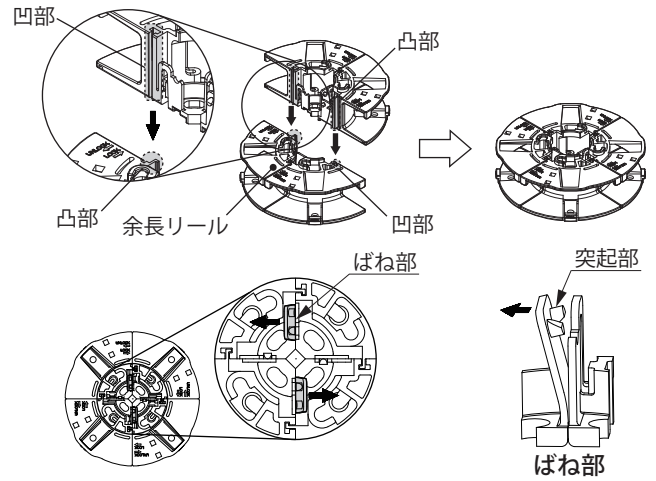
余長リールを円状で使用する場合は、余長リール(半円)を連結してください。

### ●連結方法

余長リールの凸部と凹部の位置を合わせて上から下へスライドし「カチッ」と音がするまで押込んでください。

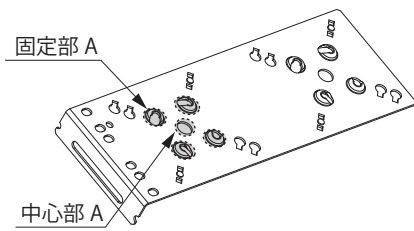
### ●取外方法

余長リール(円状)のばね部(2カ所)を同時に矢印の方向に押し、突起部のかかりを外した状態で上下にスライドさせてください。

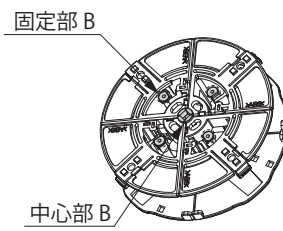


## ■余長リール取付方法

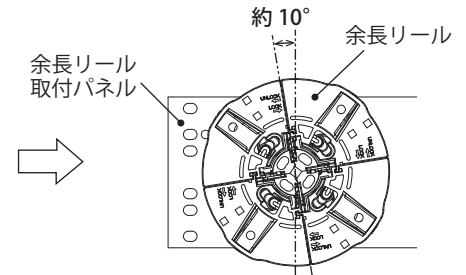
1. 余長リール取付けパネルの固定部 A と余長リール(裏面)の固定部 B、余長リール取付けパネルの中心部 A と余長リール(裏面)の中心部 B を約 10° 傾けた位置に重ね合わせてください。



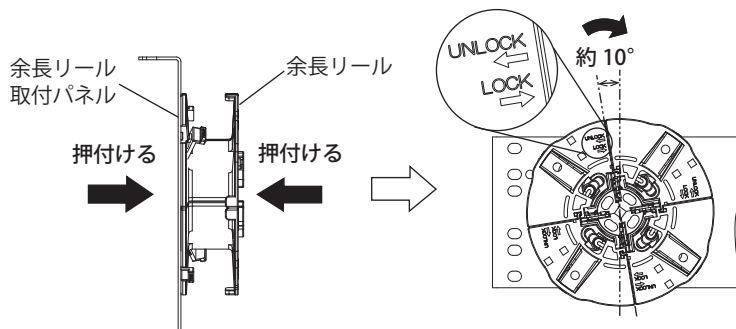
余長リール取付パネル



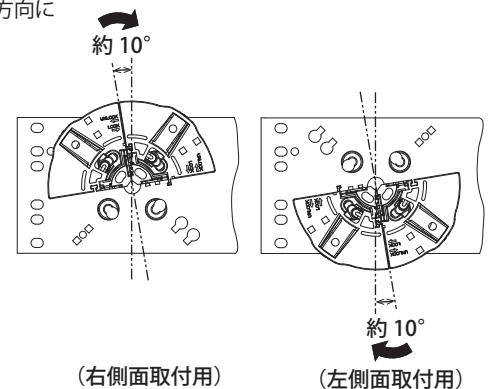
余長リール(裏面)



2. 余長リールと余長リール取付パネルを両手で挟込み、強く押付けて密着させた状態で、LOCK 方向に「カチッ」と音がするまで回してください。(時計回り約 10°)



余長リール(円状)取付時

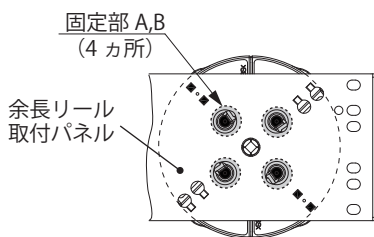


(右側面取付用)

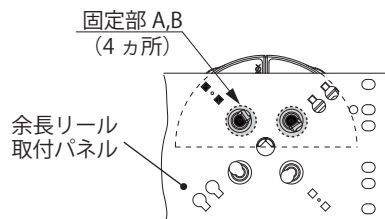
(左側面取付用)

余長リール(半円)取付時

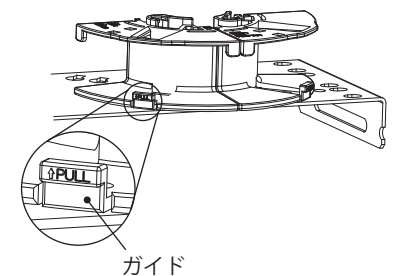
**ご注意** 余長リール取付パネルの裏側を確認し、固定部 A、B が嵌め合っていることを確認してください。また、余長リールのガイドが浮いていないことを確認してください。



余長リール(円状)取付時(裏側)



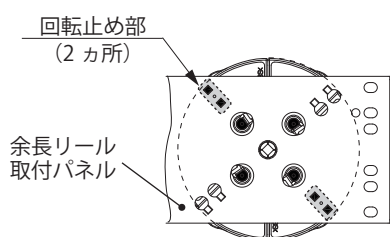
余長リール(半円)取付時(裏側)



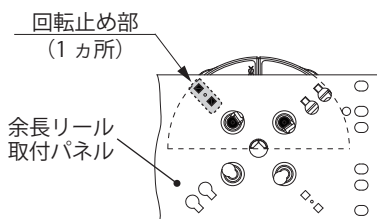
ガイド

## ■余長リールの取外し方

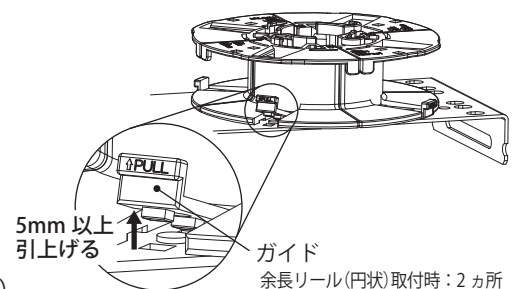
1. 余長リール取付パネルの回転止め部の上面にある余長リールのガイドの先端を 5mm 以上上げてください。



余長リール(円状)取付時(裏側)



余長リール(半円)取付時(裏側)

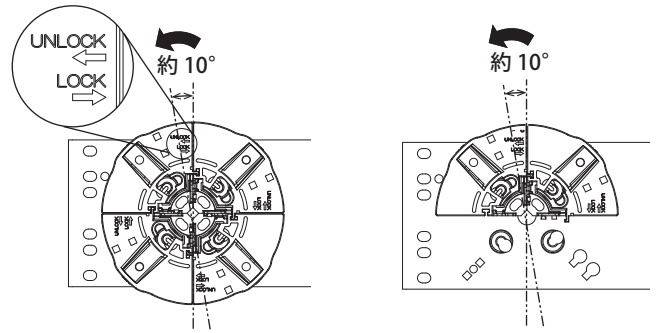


5mm 以上  
引上げる

ガイド

余長リール(円状)取付時：2カ所  
余長リール(半円)取付時：1カ所

2. 回転止め部を上げた状態で、余長リールに表示された UNLOCK 方向に回してください。(反時計回り約 10°)



余長リール(円状)取付時

余長リール(半円)取付時

## ■取付方法

### ご注意

- ・取付けにはマウントアングルの側面に 80mm 以上スペースが必要です。(図 1)
- ・システムラックに取付ける前に、余長リールを余長リール取付パネルに取付けてください。(P.2「■余長リール取付方法」参照)
- ・余長リールユニット前面の長穴または上下の U カット部を使用して付属の +S タイツフランジ六角ボルト M5×10 で固定してください。(図 2)

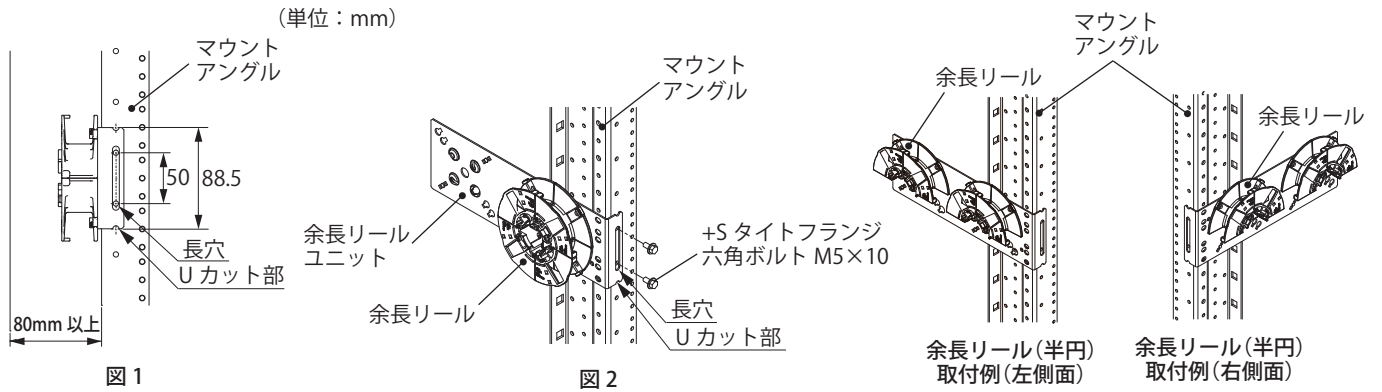


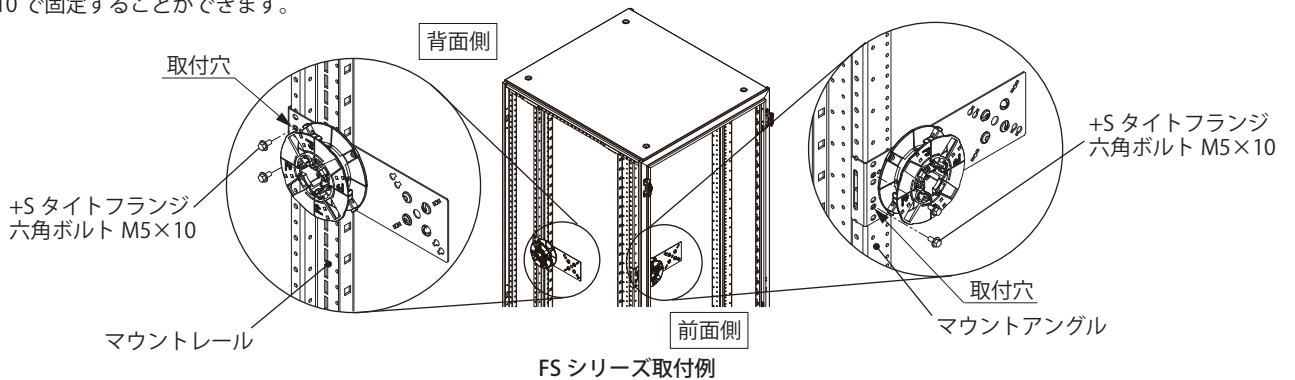
図 1

図 2

余長リール(半円)取付例(左側面)

余長リール(半円)取付例(右側面)

FS シリーズについては、余長リール側面の取付穴を使用し、マウントアングル正面またはマウントレールに付属の +S タイツフランジ六角ボルト M5×10 で固定することができます。



FS シリーズ取付例

## ⚠ 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下の原因になります。また、締付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
M5	2.3 ~ 3.0

※ただし、S タイツねじにおいて締付時の初期トルクはこの限りではありません。

## ■使用方法

余長リールに光コードまたは LAN ケーブルの余長を収納してください。

### ご注意

- ・光コードまたは LAN ケーブルの張力による破損を防ぐため、別途システムラックに取付けたケーブルホルダー【RD87-1SK】などで光コードまたは LAN ケーブルを固定してください。(図 3)
- ・余長リールを半円で使用する場合は余長の下部で光コードが許容曲げ半径以下にならないように配線してください。(図 4)

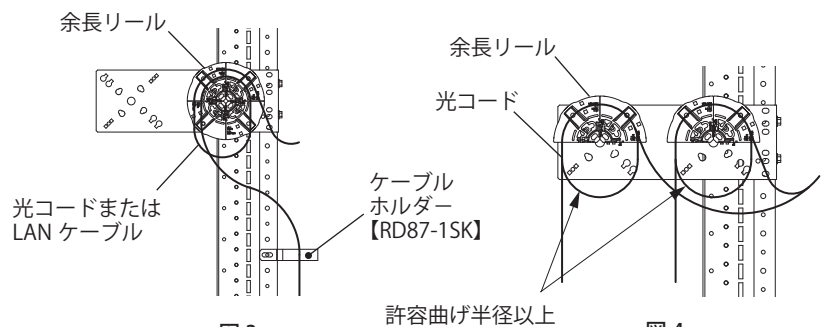
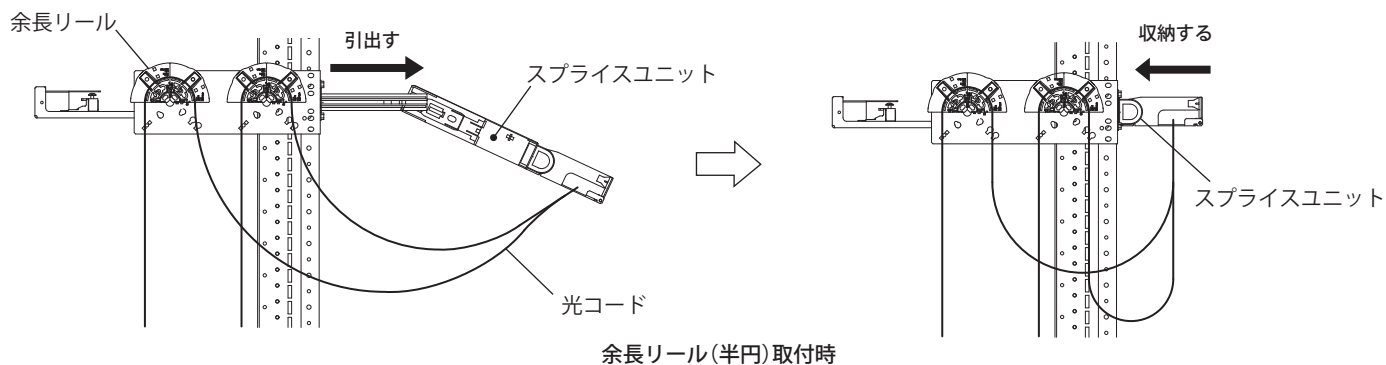
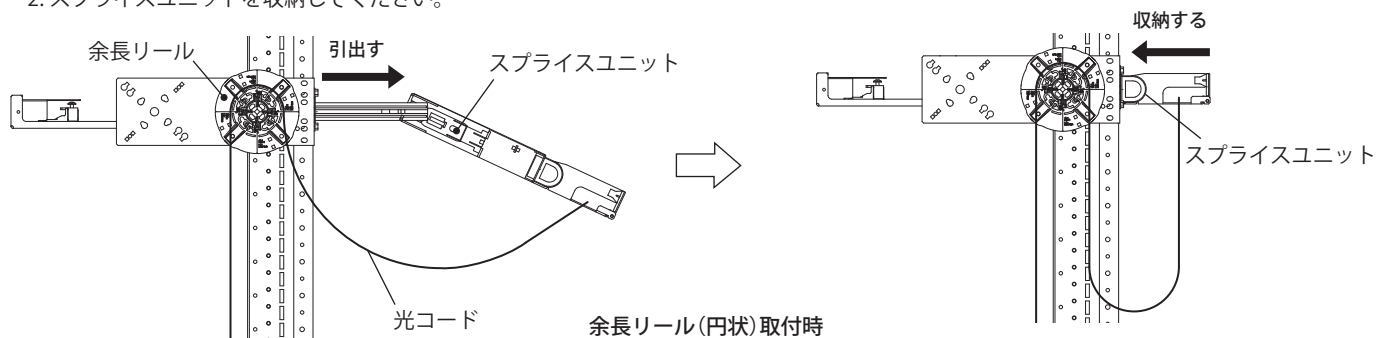


図 3

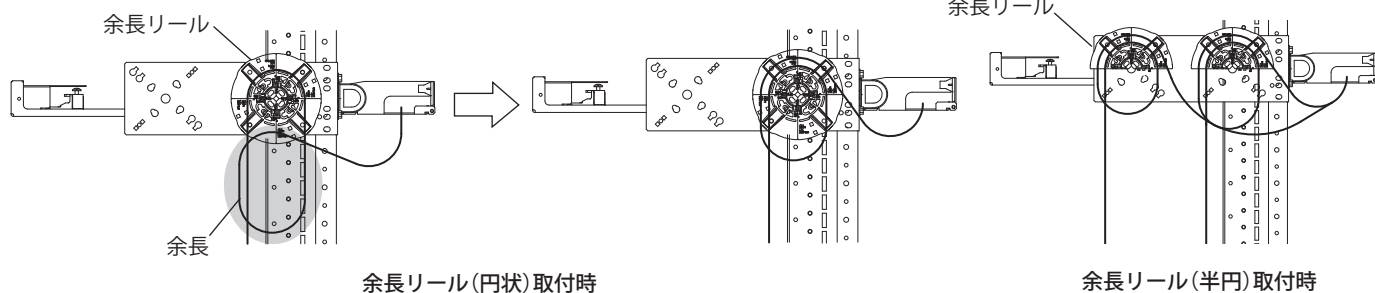
図 4

## ●スライド式スプライスユニットなどの引出し可能製品の余長収納方法

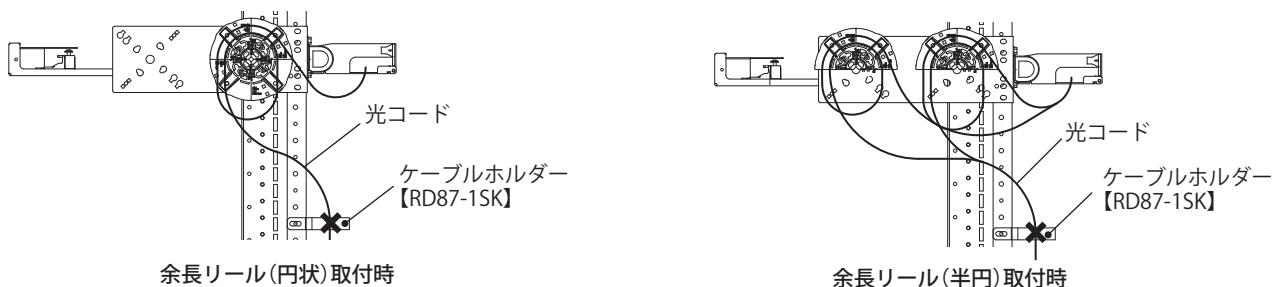
1. スプライスユニットを引出した状態で、光コードを余長リールに掛けてください。
2. スプライスユニットを収納してください。



3. 余長を余長リールに巻付けて収納してください。

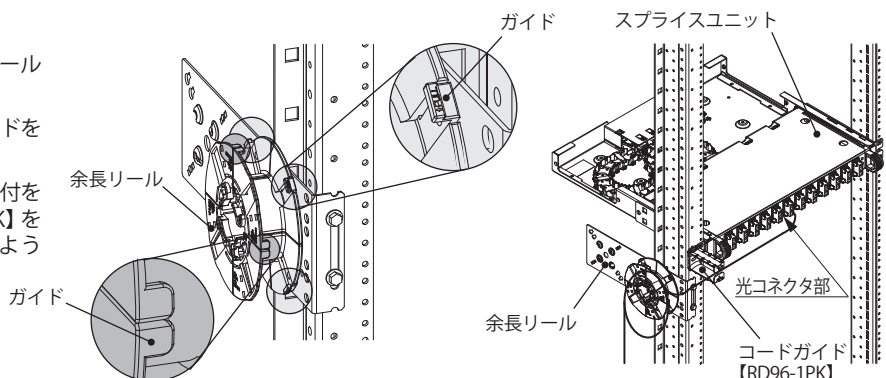


4. 光コードがずれないように別途システムラックに取付けたケーブルホルダー【RD87-1SK】などで固定してください。



### ご注意

- ・スプライスユニットの引出しは、必ず余長リールから余長を取り出してから行ってください。
- ・余長を取り出す際、余長リールのガイドに光コードを引掛けないよう注意してください。(図5)
- ・スプライスユニットは、マネージメントトレー付をご使用いただくか、コードガイド【RD96-1PK】を使用して光コネクタ部に張力が掛からないよう注意してください。(図6)



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は2016年5月現在のものです。

C419161920